

令和3年度 認知症初期集中支援チーム 活動報告

(R3年6月30日現在)

	No.	性別	年齢	初回相談者	相談経路	支援開始	支援終了	診断名	対応結果
令和2年度 支援事例からの	1	女	78	かかりつけ医	地域包括支援センター	R3年2月	R3年4月	—	介護認定申請されるが、サービス利用には繋がらず、チームによる支援を開始。配食サービス、デイサービスの利用が始まり、介護サービスによる支援が軌道にのったことから家族の介護負担軽減された。チームの支援は終了。
令和3年度 の新規事例	1	男	77	家族	地域包括支援センター	R3年4月	—	認知症	認知症の診断を受けて内服治療を継続していたが、進行に伴い周辺症状（興奮、易怒性など）が顕著となり、家族の介護負担が限界のところきている。介護サービス利用に向けて支援中。
	2	女	84	家族	地域包括支援センター	R3年5月	—	認知症	家族の負担感が強い。専門医を受診し、必要な治療への継続、家族の相談先の確保、を目標に支援中。
	3	女	78	家族	地域包括支援センター	R3年5月	—	—	数年前より周辺症状がみられ、家族の負担感が増大。医療機関受診や介護サービス利用には拒否感が強い。本人の症状の安定、家族の負担軽減を図るため、医療と介護サービスにつなぐことを目標に支援中。
	4	女	74	家族	地域包括支援センター	R3年6月	—	—	数年前より妄想・幻覚の症状があり、介護認定を申請してサービス利用を開始したものの、拒否のため中止。家族より再相談があり、専門医受診と、介護サービス利用を目標に支援中。